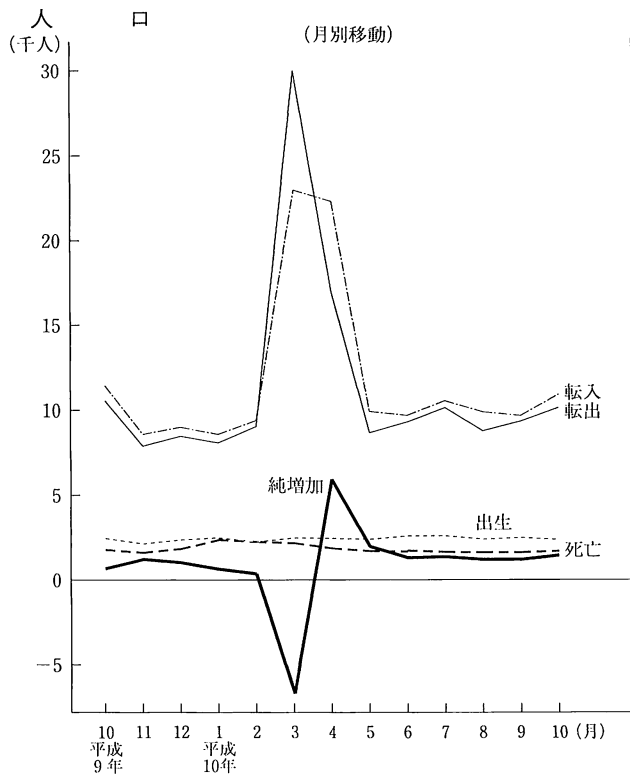
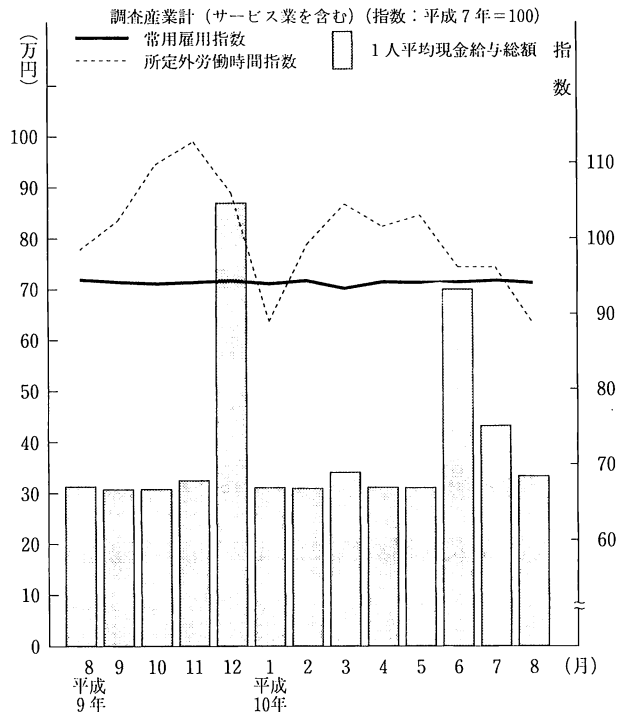


# 今月の主な動き



## 賃金・労働時間・雇用



### ■ 人口 (10年11月1日)

#### 10月の概況

本県の人口は、10月中に1,452人増加し、11月1日現在で2,994,775人(男1,495,173人、女1,499,602人)となった。

内訳は、自然動態で、672人(出生2,366人、死亡1,694人)増加し、社会動態で、780人(転入10,922人、転出10,142人)増加した。前年同月と比べると11,658人(0.4%)の増加である。

市町村別では、増加が16市36町村、減少が4市28町村、増減なしが1村である。

世帯数についても10月中に1,505世帯増加し973,657世帯となった。

### ■ 賃金・労働時間・雇用 (10年8月)

#### 1. 平均賃金の推移

8月の現金給与総額は、調査産業計で322,362円、対前年同月比2.9%増、このうち、きままって支給する給与は304,864円、対前年同月比0.5%増であった。特別に支払われた給与は、17,498円であった。

#### 2. 労働時間

8月の総実労働時間は、調査産業計で144.6時間、対前年同月比0.5%増であった。このうち、所定内労働時間は132.8時間、対前年同月比1.4%増、所定外労働時間は11.8時間、対前年同月比9.9%減であった。

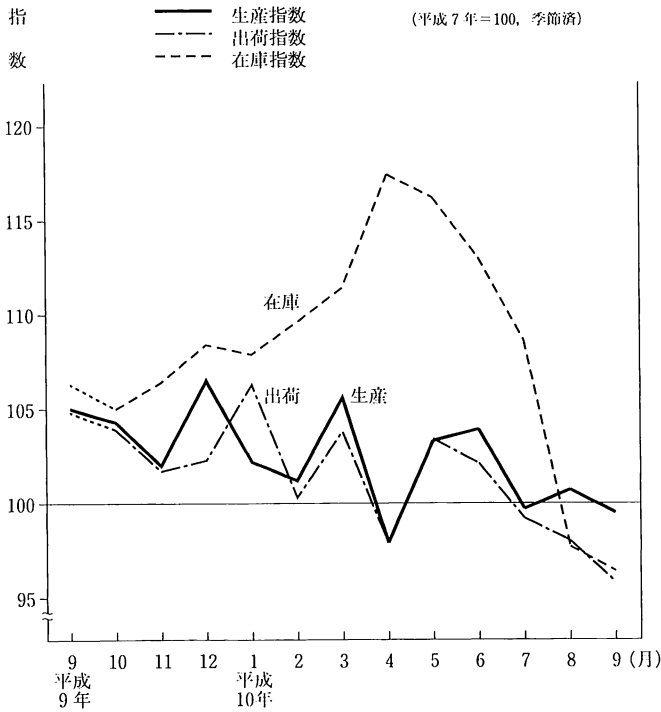
#### 3. 雇用の動き

8月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比0.4%減であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。

なお、事業所規模5人以上の結果についての問い合わせにも応じます。

鉱工業指数（生産・出荷・在庫）

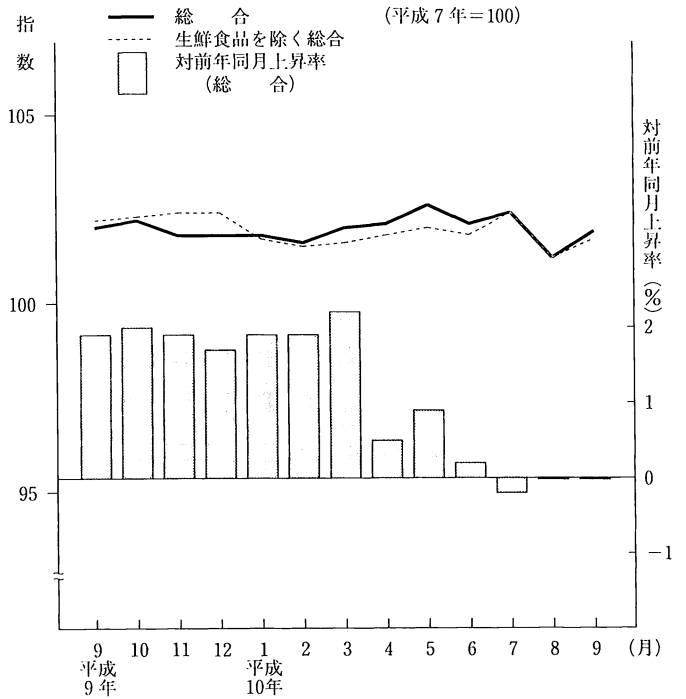


■ 鉱工業指数＜生産・出荷・在庫＞（10年9月）

本県における平成10年9月の“鉱工業指数”（平成7年＝100）は、季節調整済指数で、生産が99.5、出荷が95.8、在庫が96.4で、前月比は、生産が△1.2%の低下、出荷が△2.2%の低下、在庫が△1.4%の低下であった。前年同月比（原指数）は、生産が△5.2%の低下、出荷が△8.5%の低下、在庫が△9.3%の低下であった。

業種別に前月比をみると、生産では、精密機械工業、一般機械工業、パルプ・紙・紙加工品工業等が上昇し、電気機械工業、石油・石炭製品工業、非鉄金属工業等が低下した。出荷では、鉄鋼業、精密機械工業、窯業・土石製品工業等が上昇し、鉱業、プラスチック製品工業、電気機械工業等が低下した。在庫では、鉱業、精密機械工業、一般機械工業等が上昇し、輸送機械工業、繊維工業、電気機械工業等が低下した。財別にみると、生産では、非耐久消費財が上昇し、建設財、その他生産財等が低下した。出荷では、非耐久消費財、鉱工業用生産財が上昇し、資本財、耐久消費財等が低下した。在庫では、資本財、建設財が上昇し、その他生産財、鉱工業用生産財等が低下した。

消費者物価指数



■ 消費者物価指数（10年9月）

平成10年9月の茨城県消費者物価指数（県平均）は、総合で101.9（平成7年＝100）となり、対前月比0.7%の上昇、対前年同月比0.1%の下落となった。

- 今月の上がった主な項目……野菜・海藻10.0%、衣類8.4%、シャツ・セーター下着10.6%  
 今月の下がった主な項目……魚介類1.7%、保険医療用品・器具0.9%、身の回り用品0.9%

生鮮食品を除く総合は101.7となり、対前月比0.5%の上昇、対前年同月比0.5%の下落であった。

■ 費目別指数

(平成7年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	101.9	0.7	△0.1	保健医療	112.0	△0.1	△1.2
食 料	102.4	1.0	1.3	交通通信	97.4	△0.4	△1.7
住 居	102.0	0.2	△0.3	教 育	107.4	0.0	1.0
光熱・水道	102.4	△0.1	△2.5	教養娯楽	98.8	△0.3	0.0
家具・家事用品	96.9	0.1	△0.6	諸 雑 費	100.9	△0.2	0.2
被服及び履物	108.2	6.9	0.0	生鮮食品を除く総合	101.7	0.5	△0.5